

学生からのコメント

こんにちは、栗原研究室4年の前猛文です。栗原研は数学専攻の研究室にしては大所帯で、現在は特任助教の先輩が1人、博士課程の先輩が3人、修士課程の先輩が4人、学部生が3人在籍しています。

私たちの研究室では、週1回のセミナーを通じて整数論について勉強しています。現在4年生のセミナーでは、サミュエルの『数の代数的理論』を読み進めています。セミナーには、修士課程、博士課程の先輩方にも出席していただき、様々なアドバイスをいただけます。毎週のセミナーで、少しずつですが、自分の実力が上がっていくのが実感できます。次々と新しい概念が登場し、ひとつひとつを理解していくのは大変ですが、とてもやりがいがあり、楽しいです。3年生までの勉強は、さまざまな分野を広く浅く学んできましたが、研究室に入ると、ひとつの分野を深く勉強するので、これまでと違った面白さがあります。

さて、栗原研の魅力は数学だけではなくありません。栗原研にはさまざまなイベントがあります。毎年、野球の早慶戦に応援に行きます。例年は春、秋2回の応援に行くらしいのですが、今年はアメリカのボストン大学で行われた研究集会に、先生を始め大学院生の先輩達が出席したために、春の早慶戦には行かれませんでした。秋の早慶戦にはこれから行くことになっていて、楽しみにしています。

栗原研にはまた、飲み会というイベントがあるのですが、栗原研の飲み会では、皆がひ



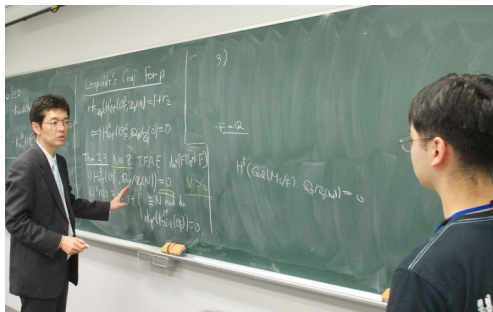
2014年合宿の写真

たすらビールを飲み続けるということに驚かされました。僕は元々ビールがあまり得意ではなかったのですが、この研究室でやっていくためにはビールを飲めなければいけないと思ひ込み、今では1人でも好んで買うほどに成長しました。念のため言うておきますが、ビールが飲めなくても大丈夫です。

夏は合宿に行きます。各自与えられた課題を発表するのですが、数学ばかりやるわけではなく、半分は観光旅行のような感じでした。OB・OGや他の数論の研究室の生徒も参加します。今年は山形県に行ってきました。羽黒山の2446段の階段を登りました。久しぶりにランナーズハイを味わえてよかったです。

数学が得意、好きという方はもちろん、数学に苦手意識がある方も気にする必要はありません。数学に大切なのは、真実と正面から向き合う心です。ぜひ私たちと一緒に数学を学びましょう！

教員からのコメント



整数論を研究しています。数の世界に入っていくと、深く進めば進むほど美しい世界が広がるのです。

ちょうど、山に登ったときに、上に行けば行くほど美しい景色が広がるように、先に進めば進むほど、美しい景色が広がります。写真撮ってきて、見せてあげたいとも思いますが、やはり写真では本物の感動は伝わらないようです。自分で汗をかいて登ってみて、初めてめぐり合える景色は格別です。数理科学科に来て、数学を勉強してみると、今までの数学は子供向けのものだったことがわかると思います。

皆さんも、数理で本物の数学に出会いませんか。なお、整数論は代数系に分類されていますので、まずは代数を勉強してほしいと思います。今までの数学が苦手な人でも、これからの勉強で代数系の科目は十分に間に合います。要は興味を持って自分で進むことです。数理科学科で数の世界の神秘を体験してほしいと思います。

栗原 将人